

# 未来の学校

発表者：松江市立津田小学校 神門誠司

教育といえば、何か大事か？

教育の本質、それは人と人とのつながりです

インターネット、情報教育云々とさまざまな新しいことがでできます。しかし、教育の本質は変わりません。それは「人と人とのつながり」です！ 教師と生徒、学校と地域社会、、、これらなくしては教育はあり得ません。それから教師ひとりひとりの力は微々たるものでも、多くの方と連帯することですばらしいことができます。

しかし、人と人とのつながりは「待ち」の姿勢では得られません。教師も進んで祭、地域の行事、市民ボランティア等に参加しましょう、学校から飛び出しましょう！！ 幸いにインターネットというすばらしい手段が発明されました。そしてそれがあったからこそ、2001年未来基金に多くの人たちが集まりました。このつながりを大切にしていきたいです。

やはり子ども達には子どもたち向けのものがが必要です

残念ながら「子ども向け」と銘打たれているソフトやハードのほとんどは子ども向けではありません。パソコンに詳しい人が「こういったのが子ども向けだろう」と想像して作ったものです。よく言われます。

「いまだに、子どもたちが踏んづけても壊れないキーボードはない。」

子どもたち一人ひとりには個性があります。地域や学校によって様子も違います。それらに対応する必要もあります。

「ああ、この子ども達のために、こんなものあったらいいのになあ。。。だけど、ない！！」と嘆息することがしばしばあります。本当の意味での「子ども向け」のソフトやハードを開発しないとイケません！

だけどやはり先立つものが、、、

以上なんだかえらそうに書いてきましたが、やはり「先立つもの」が必要です。これが無いと何もできません。この2001年未来基金のように、志ある方によって運営されている基金の援助をいただけるは、涙がでるほどありがたいことです。大声で叫びたいです。

「2001年未来基金よ永遠に！！！」